

とちぎ米産地だより【12月号】

<25年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第21号 平成25年12月9日(月)
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

1. とちぎ米生長日記

12月の稲作業 ～秋耕～

秋耕(シュウコウ)・・・米の収穫後、田を耕して稲ワラを鋤(す)きこむ作業のこと。通常、年内は収穫後と11月～12月に2回行います。『秋起こし』とも言います。



圃場：JAうつのみや

☆☆ 利点 ☆☆

- ①**ワラの分解促進**: 収穫後、刈り残したワラや刈り株を鋤き込むことで、翌年の春までに土の中で約半分が腐って土づくりになります。
- ②**地力増進**: 荒く耕起することで水田の表面が乾き、土壌中の有機物が微生物によって分解されやすくなり、肥料効果が高まります。
- ③**雑草・病害虫防除**: 土を起こすことで乾燥と冬の寒さにより雑草の種子や塊茎が枯死します。また、刈り株が病気を保有していると、ウンカ等の稲の害虫が摂取・保毒し、次年度の稲へ病気を媒介してしまうため、刈り株を鋤きこむことで防ぐことができます。

秋耕は、収穫後できるだけ早く行うことで上記の利点効果が高まります。
栃木県では、早期の実施を推進しています。

2. 全農イベント情報

学生による『まるごと“とちむすび”コンテスト』 最終審査結果 発表！！

9月から応募を開始した学生による『まるごと“とちむすび”コンテスト』の最終審査会を11月9日に開催しました。県内30校から355点の応募があり、1次審査(書類審査)で選出した16作品を応募者が調理し、10名の審査員が試食審査を行いました。見事最優秀賞に輝いた3点をご紹介します！



《受験にカツ・夜食に食いたい》 おにぎり部門

『ぷりっとすっきり米』 羽金美咲(はがね みさき)さん

・宮みそ、白美人ねぎ、唐辛子、大田原産の大葉、鹿沼産のにらなど栃木県産品をたっぷり使用。ごはんには肉みそを混ぜ、大葉とのりで包んだおにぎり。ごはんの美味しさも生かされていたと好評でした。



《部活パワー全開ガッツリ系》 おにぎり部門

『ライスDEぎょうざ』 市川知穂(いちかわ ちほ)さん

・ご飯の中に餃子の具を入れ、餃子の形をしたおにぎり。最後にハケで醤油を塗りごま油で焼く香りは、食欲をそそります。ニラと生姜がしっかりときいていて、ご飯と合うと好評でした。



《女子組ヘルシー系》 おにぎり部門

『日光おむすび』 大山侑子(おおやま ゆうこ)さん

・醤油、酢、砂糖、わさびを加えたご飯を湯葉で巻き、ニラで結んだおにぎり。新しい形のおむすびで、わさびがさっぱりとしていておかずにもなりそうと好評でした。

入賞作品16点の中から、栃木県内量販店にて商品化予定です。



3. 産地紹介①

○●那須烏山市 大木須新そばまつり●○

11月24日(日)、雲一つない快晴の下、那須烏山市の山間に位置する大木須(おおぎす)という地域で20回目を迎える、『新そばまつり』が開催されました。この時期は栃木県内でも盛んに新そば祭りが開かれています。この大木須のそば祭りの特徴は地元の“里山大木須を愛する会”が主体となり、この地域で種まき、収穫、そば打ちまでを地域住民が一貫して行うこだわりで、新そばを毎年提供しています。

会場は昨年以上に多くのお客さんで賑わい、特に地元野菜がたっぷりに入ったけんちんそばのテントには、長い行列ができて大盛況でした。けんちんそばの他、もりそばやお土産用の生そば・そば粉など1,500食を準備、また地元のお米を使った焼きおにぎりや焼き芋、芋串も全て完売しました。



近隣の中学生達がトラックを特設ステージにしてお囃子を披露し祭りに彩りを添えていました。また、日頃授業として大木須でお米作りをしている宇都宮大学の学生達もボランティアとして参加していたりと活気に溢れていました。

◀香り高くこしのあるそば、味がしっかりと染みた具たくさんの野菜、薬味のゆずもさっぱりとアクセントが効いて、2杯目に手が伸ばしたくなるけんちんそばでした。

4. 産地紹介②

ゆるキャラグランプリ 2013

さのまる

★祝1位★おめでとう!

11月24日(日)埼玉県羽生市で開催されたゆるキャラサミットにて『ゆるキャラグランプリ2013』の投票結果が発表されました。

エントリー数1,580体の中から見事、**栃木県佐野市のさのまる**がグランプリとなりました!!



○●さのまるプロフィール●○

佐野ラーメンのお椀の笠、いもフライの剣を持った佐野の城下町に住む侍。自慢の前髪はラーメンでできている。世界に佐野の魅力をアピールするべくお椀型の笠にはローマ字表記で『SANO』と書かれている。

☆イチゴ狩り in 佐野 アグリタウン☆



さのまるがブランドキャラクターを務める佐野市のアグリタウンは、農産物直売所、物産館、農村レストランの施設に加え、いちご狩り、ブルーベリー狩り、桃狩り等の味覚狩りや、お米作り体験、じゃがいも作り体験などの様々な農業体験もできる施設です。

今年も**12月7日~5月下旬**まで、シーズン6万人が訪れる栃木県最大級のイチゴ狩り農園が十分に開園します。約80棟のハウスで、ミネラルたっぷりの土から栄養をもらって育った“とちおとめ”を栽培しています。甘く完熟したイチゴを食べてもらいたいという趣旨のもと、予約者を優先しています。繁忙期は、2週間位前にご予約が埋まることも。早めの予約をお勧めいたします!

■お問い合わせ:有限会社 佐野観光農園 ■TEL:0283-20-5215 ■食べ放題時間:30分

■場所:アグリタウンはイチゴ園が2か所あります。いちごの生り具合によってお客様のご案内先を決定いたします。ご予約いただいた日の案内先をHPでご確認の上、表示先の農場へお越し下さい。(農場間は1km離れています。お間違えないようお願い致します。)アグリタウンHP <http://www.itigogari.com/>

※ 問合せ先 ※

◆内容に関するご意見、ご質問、ご感想も、是非お寄せください。

JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037